

令和7年度

事業報告

令和7年4月1日から

令和8年3月31日まで

公益財団法人 岡山工学振興会

I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学分野の研究振興を図るとともに、先端技術の向上を目指して大学と産業界等との連携を促進し、学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

1 事業の実施状況

(1) 学術研究助成事業

公益目的事業 1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は、次のとおり実施した。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

ア 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

イ 研究助成の種目と助成額

(ア) 内山勇三科学技術賞

内山工業株式会社 元会長 故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

採択件数 0 件 (1 件 200 万円)、合計 0 万円

(イ) 岡山工学会科学技術賞

・一般研究

特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

採択件数 11 件 (1 件 70 万円)、合計 770 万円

・萌芽研究

研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

採択件数 8 件 (1 件 40 万円)、合計 320 万円

(ウ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部、高等専門学校及び研究機関に対し、3月初旬に公募要項を配布した（財団ニュース第134号及び財団ホームページに掲載）。

応募の締切は4月8日とした。

(エ) 選考方法

選考委員会において選考した。

③ 研究助成応募状況

種別		応募数 (件)	採択数 (件)	採択率 (%)
内山勇三科学技術賞	特別研究	1	0	0
岡山工学会科学技術賞	一般研究	19	11	57.9
	萌芽研究	16	8	50.0
計		36	19	52.8

④ 研究助成採択課題と研究代表者

ア 岡山工学会科学技術賞 一般研究

所属機関	氏名	研究題目	助成額 (万円)
岡山大学学術研究院 教育研究マネジメント領域 教授	藤原 貴典	円筒研削加工の高精度化を実現するための「研削液膜厚センサー」および「工作物表面温度センサー」の集積化ならびに3Dプリンターによる「新型研削液供給ノズル」の試作開発	70
岡山大学学術研究院 先鋭研究領域 准教授	池田 陽子	エピゲノム編集によるオオムギへの有用形質の導入	70
岡山大学学術研究院 先鋭研究領域 助教	田中 健太	有機光触媒によるアリアル-アリアル結合形成反応の開発	70
岡山大学学術研究院 先鋭研究領域 准教授	千住 洋介	脂質結合タンパク質に着目したラメリポディア（葉状仮足）の新規分子機構の解明	70
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 准教授	鈴木 博貴	先進風洞実験によるフラクタル生成乱流の非平衡減衰特性計測	70
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	岡部 孝弘	高自由度光線空間の生成と獲得による画像の認識	70
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教	佐藤 英祐	Stemmadenine 類の骨格形成を志向した電気化学的環化反応の開発	70
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	小野 努	マイクロ空間における剪断場制御と機能性材料創成	70

所属機関	氏名	研究題目	助成額 (万円)
岡山大学学術研究院 ヘルシステム統合科学学域 助教	曲 正樹	新規ワクチンアジュバント創出に向けた 抗体産生増強分子の探索	70
岡山大学学術研究院 ヘルシステム統合科学学域 教授	井出 徹	微小流路によるチャネル病創薬支援装置 の開発	70
岡山理科大学 工学部 教授	折田 明浩	高溶解性および迅速パイ拡張反応を可能 にするスルホニル基の開発とパイ拡張反 応への応用	70

イ 岡山工学振興会科学技術賞 萌芽研究

所属機関	氏名	研究題目	助成額 (万円)
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 講師	阿部 匠	インドリンのオンデマンド切断の開発 と応用	40
岡山大学学術研究院 先鋭研究領域 特任准教授	畑中 翼	天然に着想を得た高活性高耐久性な水 の酸化触媒の開発	40
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教	飯田 裕也	液液相分離を介した結晶化プロセスの 強化に向けた液滴径依存の結晶化挙動 予測モデルの構築	40
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 助教	新田 菜摘	新規トリアリールボランの合成と機能 開拓	40
岡山大学学術研究院 ヘルシステム統合科学学域 准教授	平野美奈子	細胞機能の光操作のための光活性化酵 素の探索・創製	40
岡山大学学術研究院 ヘルシステム統合科学学域 助教	宮本 愛	免疫チェックポイント阻害剤の治療効 果予測および副作用のリスク管理を可 能にする診断薬の開発	40
岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域 教授	泉 実	糖質誘導体を用いたアトピー性皮膚炎 の慢性化治療法の開発	40
岡山理科大学 理学部 准教授	大坂 昇	延伸下での自己核生成による強誘電 性・圧電性高分子の β 晶分率の向上と 高性能化	40

(2) 産学官連携事業の助成

公益目的事業2（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は、次のとおり実施した。

① 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

② 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

③ 産学官連携研究会等の助成実績

研究会名	件数	助成額 (万円)
岡山新材料技術融合フォーラム	1	7
岡山振動音響技術研究会	1	8
計	2	15

(3) 学術交流推進助成事業

公益目的事業3（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は、次のとおり実施した。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究または学術集会を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

学術交流推進助成の対象

所属機関	氏名	研究題目	助成額 (万円)
岡山大学 教授	仁科 勇太	機能性炭素マテリアルの研究開発	12
岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	50
岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30
川崎医科大学	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に及ぼす影響に関する研究	50
計		4 件	142

(4) 学術的研究成果及び先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)（成果の普及）及び(4)（情報の収集及び提供）に掲げる事業は、次のとおり実施した。

① 学術的研究成果及び学術情報の普及

岡山大学工学部研究年報、理学部研究業績一覧、県内大学の研究年報等情報並びに（公財）岡山工学振興会ニュースを企業・研究機関に提供した。

ホームページ（URL：<https://ofst.or.jp/>）に掲載した。

② ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

公益財団法人 岡山工学会振興会年報の発行と配布。

学術研究助成者の研究成果報告等に基づき、ANNUAL REPORT を毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。

また、令和3年度からは表紙を刷新し、ロゴマークを付し、A4版とするとともに、ページ数を減らして読みやすくした。

③ 学術研究助成報告会の開催

従来、学術研究助成金贈呈式において実施していた研究成果発表について、令和6年度からは、研究成果をより広く周知することを目的として、学術研究助成報告会として別途開催している。

また、理系各部等へ周知を行い、学術研究助成者による研究成果の普及に努めた。

(5) 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)及び(6)(連携・交流)に掲げる事業は、次のとおり実施した。

① 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

② 岡山振動音響技術研究会の開催

(6) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄附者	申込金額 (円)	領収金額 (円)
学術研究助成	酸化グラフェンナノシート学会	120,000	120,000
	戸田工業株式会社	500,000	500,000
	DOWA エフテック株式会社	300,000	300,000
	医療法人伯鳳会 赤穂中央病院	500,000	500,000
	公益財団法人岡山工学会振興会	160,111	160,111
	計	1,580,111	1,580,111

2 重要な契約に関する事項

該当なし。

3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	令和4年 3月期	令和5年 3月期	令和6年 3月期	令和7年 3月期
経常収益合計	2,617	4,986	2,546	2,351
経常費用合計	2,838	2,394	2,980	2,838
当期正味財産増減額	△508	208	2,907	△1,910
資産合計	46,687	50,999	53,549	51,307
負債合計	672	4,776	4,419	4,087
正味財産	46,015	46,223	49,130	47,220

II 法人の課題

公益財団法人として法律並びに定款の定めにより、より充実・安定した事業を継続するための体制の強化。

広報の充実と支援基盤の強化。

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事２名を置き、理事の職務執行を監査するとともに、法令で定めるところにより監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当なし。

事業報告の附属明細書

1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

該当なし。

2 事業の状況について補足すべき重要な事項

(1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独で行う研究又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行う研究を助成対象としている。

なお、令和2年度申請分から奨励研究の名称を萌芽研究に変更するとともに、年齢制限を廃止するなど応募種目の偏りをなくし、若手研究者の応募の向上を図っている。

(2) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする。

(3) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成

岡山県内の研究機関等に所属する研究者等が実施する理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象としている。

3 許認可について補足すべき事項

該当なし。

4 事業の実施状況についての補足すべき事項

公益目的事業剰余金の解消計画として、学術研究助成事業の拡充を図るとともに、次年度以降の公益目的事業推進のための特定資産を令和5年度に取得した。

5 役員会等に関する補足すべき事項

該当なし。

6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項

該当なし。